

サービス見込み量進捗管理作業シート

計画値：令和3年度、実績値：令和4年3月末

部分を記入してください

保険者番号	232389
保険者名	長久手市

ステップ1：認定率の比較（年間）

(%)

	計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
要介護認定率	10.1%	10.4%	-0.3%	
年齢階級	前期高齢者	2.1%	2.0%	0.0%
	後期高齢者	18.2%	19.6%	-1.4%

認定者数

第1号被保険者数

(人)

(人)

計画値	実績値
1,027	1,054
104	106
923	948

計画値	実績値
10,127	10,094
5,043	5,252
5,084	4,842

ステップ2：利用者数の比較

サービス名	単位	計画値	実績値	達成率 (実績値/ 計画値)	乖離 の有無	現状の分析とその確認方法 課題、対応の必要性について
居宅サービス	訪問介護	人/年	3,048	3,160	104%	
	訪問入浴介護	人/年	192	205	107%	
	訪問看護	人/年	2,316	2,445	106%	
	訪問リハビリテーション	人/年	192	186	97%	
	居宅療養管理指導	人/年	3,384	3,326	98%	
	通所介護	人/年	4,212	3,890	92%	
	通所リハビリテーション	人/年	972	652	67%	計画時に見込んでいなかった近隣の事業所の減少があったため
	短期入所生活介護	人/年	948	787	83%	
	短期入所療養介護（老健）	人/年	132	88	67%	乖離あり 見える化詳細分析から、要介護4・5の利用が減少しているため
	短期入所療養介護（病院）	人/年	0	0	-	
	福祉用具貸与	人/年	5,316	5,272	99%	
特定施設入居者生活介護	人/年	600	560	93%		
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	人/年	108	77	71%	乖離あり 事業所が通常の訪問介護で対応することが多いため
	夜間対応型訪問介護	人/年	0	0	-	
	認知症対応型通所介護	人/年	0	1	-	
	小規模多機能居宅介護	人/年	336	307	91%	
	認知症対応型共同生活介護	人/年	540	536	99%	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	人/年	0	0	-	
	地域密着型介護老人福祉施設	人/年	696	701	101%	
	看護小規模多機能型居宅介護	人/年	180	117	65%	乖離あり 市内唯一の事業所がR2年度中休止してR3.4月から稼働開始したため
地域密着型通所介護	人/年	276	198	72%	乖離あり 市内の事業所が2から1に減少し、利用も低調だったため	
施設サービス	介護老人福祉施設	人/年	612	647	106%	
	介護老人保健施設	人/年	912	686	75%	乖離あり 計画時に見込んでいなかった近隣の事業所の減少があったため
	介護医療院	人/年	48	89	185%	乖離あり
	介護療養型医療施設	人/年	48	21	44%	乖離あり 近隣の介護療養型施設が介護医療院に移行したため
介護予防支援・居宅介護支援	人/年	7,776	7,972	103%		

利用回数

(回/年)

計画値	実績値	達成率
0	3	-

利用回数

(回/年)

計画値	実績値	達成率
2,898	2,675	92%

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

(円/年)

給付費

(円/年) (%)

サービス名		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法	計画値	実績値	対計画値
居宅サービス	訪問介護	111,495	121,093	-9,599	要介護1・3・5の給付額が増加。重度者が有料老人ホームで訪問介護を利用しているのではないか。	339,836,000	382,655,080	113%
	訪問入浴介護	53,953	61,413	-7,460	想定よりも要介護4の給付額が増加したため。	10,359,000	12,589,759	122%
	訪問看護	43,866	49,403	-5,537	すべての介護度で給付額が増加。コロナ禍で療法士の訪問が増えているのではないか。	101,593,000	120,789,909	119%
	訪問リハビリテーション	34,604	39,560	-4,956	すべての介護度で給付額が増加。コロナ禍で療法士の訪問が増えているのではないか。	6,644,000	7,358,225	111%
	居宅療養管理指導	11,865	12,102	-237		40,150,000	40,250,324	100%
	通所介護	80,155	83,588	-3,433	給付額は計画値以下だが、特に重度者の利用が多いため、1人あたり給付費は計画値を超えている。	337,612,000	325,156,437	96%
	通所リハビリテーション	79,386	75,814	3,572		77,163,000	49,430,845	64%
	短期入所生活介護	86,222	105,414	-19,193	要介護4・5の利用者が多いため、一人あたり給付費が大きくなっている。	81,738,000	82,960,964	101%
	短期入所療養介護（老健）	68,523	90,807	-22,284	想定よりも、長期利用する人が増えているのではないか。	9,045,000	7,991,024	88%
	短期入所療養介護（病院）	-	-	-		0	0	-
	福祉用具貸与	13,385	13,965	-580		71,153,000	73,621,658	103%
	特定施設入居者生活介護	189,852	195,806	-5,955	想定よりも利用者の介護度が高い。	113,911,000	109,651,527	96%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	143,269	128,448	14,820	R2～R3にかけて、利用者の介護度が低かったため。	15,473,000	9,890,502	64%
	夜間対応型訪問介護	-	-	-		0	0	-
	認知症対応型通所介護	-	32,403	-		0	32,403	-
	小規模多機能居宅介護	200,461	223,090	-22,628	想定よりも利用者の介護度が高かったため。	67,355,000	68,488,509	102%
	認知症対応型共同生活介護	261,594	255,243	6,351		141,261,000	136,810,447	97%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-		0	0	-
	地域密着型介護老人福祉施設	292,918	295,907	-2,989		203,871,000	207,430,616	102%
	看護小規模多機能型居宅介護	203,950	166,551	37,399	想定よりも利用者数が少なく、また利用者の介護度も低かったため。	36,711,000	19,486,517	53%
施設サービス	地域密着型通所介護	93,127	116,142	-23,015	想定より利用者は少ないが、利用者の介護度が高く、一人あたりの利用回数が多かったため。	25,703,000	22,996,153	89%
	介護老人福祉施設	260,660	272,279	-11,619	想定より要介護5の利用者が多くなったため。	159,524,000	176,164,693	110%
	介護老人保健施設	267,825	287,684	-19,859	想定より要介護3・4の利用者が多いため。	244,256,000	197,351,031	81%
	介護医療院					18,559,000	31,714,761	
介護療養型医療施設	341,292	306,020	35,271	要介護5ではなく要介護3の利用者だったため。	16,382,000	6,426,428	39%	
介護予防支援・居宅介護支援	15,678	15,611	67		121,912,000	124,447,356	102%	

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題（地域密着の整備についても含む）

コロナ禍の影響か、訪問系サービスは計画値より利用が多く、通所系は計画値を下回った。重度者は有料老人ホームで訪問介護を利用していると思われ、施設の待機目的と思われる短期入所の長期利用も多くなっている現状から、施設系サービスを選びたい人が増えてきていると考えられる。施設系サービスの整備について、検討が必要。また、在宅では特に訪問介護について、提供できる事業所を探すことも大変になってきていると聞く。訪問介護事業所の整備、もしくは小規模多機能型居宅介護の整備も検討が必要。

ステップ5：地域密着型サービスの整備状況

(%)

サービス名	計画値 (8期中)	整備数 (R4.3末)	達成率 (整備数/計画値)	現状、整備を図るうえでの課題・整備見込
定期巡回・随時対応型 (施設数)	0	0	-	
夜間対応型訪問介護 (施設数)	0	0	-	
認知症対応型通所介護 (施設数)	0	0	-	
小規模多機能居宅介護 (施設数)	0	0	-	
認知症対応型共同生活介護 (定員数(人))	0	0	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護 (定員数(人))	0	0	-	
地域密着型介護老人福祉施設 (定員数(人))	0	0	-	
看護小規模多機能型居宅介護 (施設数)	0	0	-	
地域密着型通所介護 (施設数)	0	0	-	

・サービスの計画的な整備にあたって、事業者の募集の方法等、工夫をしている点について記入をしてください。  
(指定基準を条例に盛り込む、公募指定の活用、説明会の開催・個別の働きかけ等)  
・サービスの整備が充足しており、これ以上の整備は不要である場合は、そのように考える状況を記載してください。

8期期間中の新たな整備は予定していない。7期中に整備した看護小規模多機能型居宅介護の実際の稼働が8期当初にずれこみ実績がなかったこと、定期巡回や通所介護は、事業所側も従来型（通常型）のほうが運営しやすいとの意見もあり、地域密着型の整備は8期中には不要と判断した。9期で整備する際には、公募指定の活用など工夫していきたいと考えている。